

# 5 城山湖・草戸峠コース

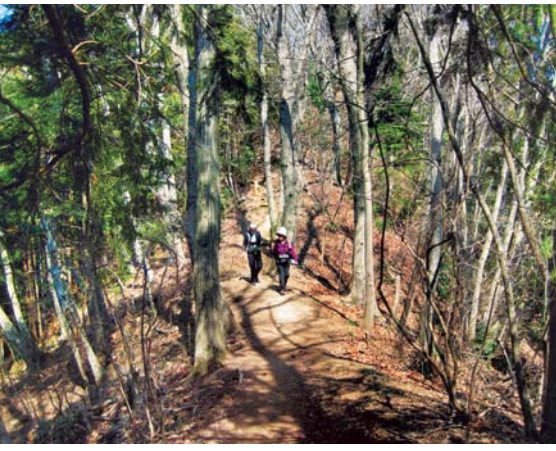
★★★ 上級 行程：約8.5km



**18 高尾山口駅**  
高尾山口駅は日本を代表する建築家の隈研吾氏のデザイン。また、駅前には京王高尾山温泉/極楽湯があり、ハイキングの疲れを癒すのに絶好。



**15 ベンチ手前の道**  
拓大分岐から鉄塔と廃鉄塔を過ぎ、急坂を上り下りし、ヤマザクラの大木をくぐるように過ぎた先の稜線。途中ハイカーには何人も出会う。



**17 四辻**  
ここで道は3本に分岐する。左へ下ると350mほどで高尾山参道口へ。ほかの2本は高尾駅へ下る道である。

**16 急崖のスギ木立**  
稜線の道にはスギが多いが、ベンチを過ぎたあたりからは左側斜面にとくに多く、右側斜面の雑木林と好対照を見せる。



**14 拓大分岐**  
右手に有刺鉄線のフェンスを見てしばらく行くと写真の道標があり、ここが拓大分岐。高尾駅・四辻(高尾山口駅)方向へ進む。



**13 梅ノ木平への分岐**  
草戸峠から150mほど、左右に大きなモミノキが数本立ちこの分岐路がある。大きなモミノキは境界木だという。



**梅ノ木平へ下って高尾山口駅へ**  
「梅ノ木平へ」の道標にそって360mほど下ると、沢沿いの道路へ出る。北へ向かい老人ホームを過ぎると畑があり、懐石料理「うかい竹亭」の先にも畑があり里山風の雰囲気味わえる。ここから川岸を進むと甲州街道で、右へ行くと高尾山口駅へ至る。沢に下りたところから駅まではずっとゆるい下りで約2.6kmある。



**11 松見平休憩所**  
ダム湖と橋本の街を眺めるこの休憩所の先は、城山湖散策路と分かれて草戸山から高尾山口駅へ、稜線のハイキングコースとなる。



**9 城山湖**  
湖岸一周の城山湖散策路があり、金刀比羅宮の先はこの道を行く(散策路の開門9:00~17:00、10~3月は16:00まで)。



**10 はなさき休憩所先**  
ダム堤防からの城山湖散策路はアップダウンがある。なかでも、はなさき休憩所先の階段は行程中一番長い上りである。



## G GOAL



かつて里山だった雑木林に囲まれた法政大学多摩キャンパスの南側。ここに境川支流の穴川が流れ、田畑の広がる谷戸が丘陵に入り込んでいます。この谷戸は初夏の6月下旬にホタルが舞うことでも知られ、谷戸奥からは穴川林道がのび城山湖へと続いています。城山湖は本沢ダムのダム湖。湖面が見え隠れする散策路を草戸山(標高365m)の松見平休憩所へ向かい、そこから北上し草戸峠をへて東高尾の稜線をたどり高尾山口駅へ下ります。

コース後半の城山湖から東高尾の稜線は、ハイキングに人気のコース。かなりのアップダウンがありますので、トレッキングシューズの着用をおすすめします。また、トイレは城山湖コミュニティ広場にあります。

## ホタルのすむ穴川の谷戸から城山湖をへて東高尾の稜線をたどる

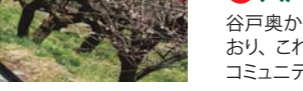
**7 8 金刀比羅宮と境内からの眺望**  
文化元(1804)年に四国の金刀比羅宮の分霊を奉遷したという由緒を持つ。眺望がよく、橋本の街や天気次第で横浜、六本木、新宿なども望める。



**6 本沢梅園**  
城山湖コミュニティ広場の南東側斜面に広がる梅の名所。見頃の2月中旬~3月中旬にかけて大勢の梅見客で賑わう。



**5 穴川林道**  
谷戸奥からは林道がのびており、これをたどると城山湖コミュニティ広場に至る。



**4 城山自然ふれあい水路(ほたるの里)**  
穴川の岸にこの案内板があり奥に水路がめぐらされている。ここには野生のホタルが生息し、6月下旬頃に観賞できる。



**1 町田街道へ下る道**  
法政大学バス停からは町田街道へゆるやかな下り坂。4月上旬頃はサクラに彩られる。町田街道を越え、境川を渡った先で左へ。



**2 明観寺**  
一般道を真っ直ぐに進むと右手に真言宗のこのお寺があり、本堂前に大きなサクラの木が数本立っている。

